

同窓会だより



2022年4月20日 第22号



コロナ禍、言葉の意味の大切さ

教育学科同窓会会長 比佐 實

科学的、不適切、記憶・認識、担保、また、民主主義、資本主義等、日常、多用されている言葉に違和感を覚えることがあります。本来の意味理解がなされているのか、言葉の社会的な影響が大きいことを考えると、正確・丁寧な表現と説明が必要です。「科学的」、「不適切」を例に、言葉が適切な使われ方がされているかを考えてみます。

科学的とは？「科学的」な方法、認識・知見、根拠・説明、判断等、常套語として使われ、聞き覚え（経験）があると思います。“物事を実証的・論理的・体系的に考える”がこの意味ですが、科学的な意識・発想が必要です。

不適切の使われ方も気になります。“適切でないこと・望ましくないこと”が意味です。明確な判断・結論（価値判断）をすべきところで、「その対応は不適切です。不適切な発言でした」等、意味不明・曖昧な表現が散見されます。問題の所在・意味を不明確なものにしています。

発想の主体・客体、ともに明確な問題意識、当事者意識と責任意識・姿勢を有することの必要な所以です。

（注）言葉の解説は、広辞苑（第6版第1刷・2008年1月）から引用しています。

CONTENTS

会報第22号

巻頭言 コロナ禍、言葉の意味の大切さ（比佐 實（'73））	…	1
もくじゅうの会でつながりましょう オンライン練習会ー	…	2
2021年度教育学科同窓会主催講演会録	…	3～5
講演会の感想（伊藤 恭子（'60））	…	6
専門委員会からの活動報告	…	6～7
同窓祭参加報告・感想	…	8
青山学院大学の駅伝への思い 第3回（斉藤満智子（'93））	…	9
支部報告 愛知・三重～新潟支部	…	10～11
わたくしの今… ー皆さんの三行消息ー	…	11～15
ありし日を偲ぶ（横塚靖子（'64））・会費納入一覧	…	15
2021年度（第22回）総会報告	…	16

来る6月26日(日)14時～16時、総会・講演会をオンラインで実施します！

今年度の総会も昨年同様オンラインで実施させていただきます。ご参加にはメールによる事前連絡が必要となります。詳しくは次ページをご覧ください。

総会：14時～14時30分
講演会：14時40分～16時

演題：コロナ禍における教育現場の実情について
講師：秋山 美栄子氏
（東京都公立小学校 校長）

もくじゅうの会

つながりましょう

毎週
木曜日
午前10時
から

コロナ禍で対面がかなわない今、教育学科同窓会はオンラインでの活動を続けています。今年の総会と講演会を6月26日に予定していますが、今年もオンラインを利用して開催する可能性が高い状況です。そのため、少しでも多くの会員の皆様に気軽に参加していただきたく、「オンライン参加の操作練習会」を企画しました。毎週木曜の10時開始なので「もくじゅうの会」です。

オンラインにまったく関心のないあなた、操作の自信がないあなた、念のため練習してみたいあなた、ちょっと参加してみようと思うあなた、すべての方が対象です。

教育を学んだ私たちには、「何かを始めるのに遅すぎることは無い」ことを知っています。参加は無料ですので、ここで一步を踏み出してみませんか。フル参加でなくても1分間でも2分間でも大丈夫です。思い切って参加してみましょう。皆様のご参加を役員一同がお待ちしております。

3月10日スタート!



日程

毎週 木曜日 午前10時から1時間程度

※ 総会開催の6月まで毎週木曜日に開催します。

スマホでの
参加も
OKです!

参加するには

前日までに、教育学科同窓会宛にメールを送信してください。このときに、①氏名、②卒業年、③参加希望日の3点をお書きください。後日、同窓会からZoomの招待状を送信します。



メールの
QRコード

※ 6月26日総会のみご参加の場合も同様に、同窓会宛にメールをお送りください。



当日になったら

参加申し込み後、同窓会から返信したZoomの招待状メールに貼り付けてあるURL(青字で下線が引かれている部分)をクリックしてください。Zoomが開いたら、①「開く」をクリックし、②「コンピュータのオーディオを使用する」をクリック、これでOKです。

万が一うまくいかない場合や疑問がありましたら、教育学科同窓会までメールでお問い合わせください。電話番号をお知らせ下されば、こちらからお電話してサポートいたします。皆様のご参加をお待ちしています!

教育学科同窓会主催 講演会

と き：2021年6月27日（日）14時40分～17時

《New Normal であらためてわかった コミュニケーションの大切さ》

【安海 将広 氏のプロフィール】

—国際コーチング連盟マスター認定コーチ

○1961年 宮城県生まれ

○1983年 早稲田大学卒業

○ビジネスコーチ歴23年 ポーイスカウト歴52年

○オンラインコーチング実践道場 2020年5月スタート通算557回



新型コロナウイルス感染症 COVID-19 が2020年1月に日本での感染が確認されてから2年余が経過し、ワクチン接種が進み、新薬による対処療法が進められていますが、変異株への対応にも事欠き、未だ COVID-19 の感染拡大・減少の明確な原因究明にもいたらず、社会生活は制約を余儀なくされています。COVID-19 がこの社会にもたらしたものの、それは、新しい現象であるのか、一時的・過渡的なものであるのか、解明・明確な説明が求められます。

まさにコロナ禍、教育学科同窓会は安海将広氏を講師にお招きし、講演会を開催しました。同窓会にとっては、オンラインでの開催は、総会を含め、勿論、初めての経験（取組・挑戦）であり、当初、緊張感と戸惑い、不安がありましたが、興味深いテーマとともに、安海氏の明快かつ的確な講話はその懸念を見事に払拭し、楽しく・有意義な講演会とすることができました。出席された皆様の意識・主体性と講師との距離感がなくなり、一体感や双方向性を有することとなりました。講演会は予定時間を大幅に超過することとなりましたが、皆さんの講演会への興味・期待はもちろんです。時間の経過を意識しない、忘れるほど集中していたことも事実で、楽しい時間を過ごすことができました。終了後に皆様から寄せられた講演会に対する感想は、そのことを如実に物語っています。

《New Normal であらためてわかったコミュニケーションの大切さ》、オンラインで開催された講演会、これは何よりも貴重な経験であり、予想外の成果をあげることとなりました。

早速、その時を振り返り、安海氏の講話の要約を掲載します。

I. New Normal とは

New Normal とは一体何を示すのでしょうか。これは、「社会に大きな変化が起こり、変化が起こる以前とは同じ姿に戻ることができず、新たな常識が定着すること」を意味します。別の言葉では「新常态」とも言い、3局面が指摘されます。

初めて New Normal が起こったのは、世界中にインターネットが普及し、テックカンパニー（電子機器ベースのテクノロジー会社）が台頭してきた 2000 年代初頭であると、投資家のロジャー・マクナミー（McNamee, R.1956— 米）が述べています。インターネット社会の到来により、これまでのビジネスモデルや経済論理が通用しなくなるという考えが示されました。

第2の New Normal は、リーマンショック後の 2009 年、エコノミストであるモハメド・エラリアン (El-Erian, M.A. 1958 — 米) が著書の中で提唱したものです。経済が深刻な経済危機から回復したとしても、根本的な課題解決に至らない限りは、元の社会に戻らないと論じています。実際、リーマンショックで痛手を負ったことにより、人々の意識は大きく変わり、資本主義社会から持続可能な社会への変革がすすみました。

第3の New Normal は、この新型コロナウイルス感染症が世界中へ拡大したことにより到来しました。感染リスクを低減させるため、人との接触機会を減らすことや、ソーシャルディスタンスを保つことなど、生活様式の大きな変容が求められています。

II. ビジネスの世界では何が起きているか

新型コロナウイルスの蔓延により、これまで当たり前のようにできていたこともかたちを変えていきました。これはビジネスの世界でも例外ではなく、①テレワーク（在宅勤務）、②オンライン会議・研修、③リモート営業（オンライン商談）へとシフトしていきました。DX (digital transformation) ということばが近年用いられてきたように、各企業はさまざまなデータやデジタル技術を駆使しながら、社会や顧客の要望に応えつつ改革を実行し、安定した経営が成立し得る取組が問われることとなっています。

教育界でもさまざまな変化があることは、会員の皆様はすでにご承知でしょうが、まさに第3の New Normal からの変革が迫られています。

III. オンラインの特徴

対面での活動が制限されるなか、オンラインの活動はもはや欠かせないものとなりつつあります。そこで、よりよくオンラインを活用するためにもこの特徴を捉えておくことが大切です。

ここでは、①通信環境に大きく依存すること、②音声がかぶると聞こえなくなること、③カメラの位置と視線のズレに注意すること、④伝わっているかわかりづらいこと、の4点について示していきたいと思います。

まず、①通信環境に大きく依存することに対しては、自分で用いるパソコンやスマホなどの通信機器を有線で接続することをおすすめします。通信環境が不安定になると、お互いにコミュニケーションが図りづらくなります。有線で接続されていれば、この不安がかなり解消されると考えられます。また、参加者が少ない場合はスマホなどの利用がよいでしょう。パソコンの使用は、データの転送量が大きく負荷がかかることもあります。

②音声がかぶると聞こえなくなることについてですが、これは zoom などのオンラインの特性で、基本的に複数の人が同時に話すことはできません。ボリュームの大きい音が優先され、その音や声が送信されることとなります。また、相手の通信環境も考慮すると、発言するときは「一文ずつゆっくりと」を心がけるとよいでしょう。これによって相手の反応も確認することができます。それから常にマイクを ON にしておくと、思わぬ生活音が混入しかねないので、ミュートを活用することもよいと思います。

③カメラの位置と視線のズレに注意することに関しては、画面を ON にしてあると、表情などが相手にも伝わっていきます。よく、「発言するときは相手の目を見て」と言われるように、カメラの位置を意識して発言していますか？ この注意だけでも伝わり方は変わってきます。

④伝わっているかわかりづらいことについて述べますと、画面越しの相手はとて小さくうつります。

講演会の様子③

ですから、相手の発言に対して少々オーバーなリアクションのほうが相手も安心できるでしょう。また、zoomのリアクションボタンを用いると、「いいね」の合図を送ることもできます。

ここに挙げた4点を意識し実行するだけで、オンラインの環境がよりよいものとなるでしょう。

IV. マニピュレート (manipulate) について

私たち人間は、他者に対して毎日たくさんのコミュニケーションをとって生活しています。しかしながら会話をするとき、相手に投げかけた質問で相手を操っているようなことをしてはいないでしょうか。

例えば、「あなた、このままでよいと思っているのですか？」という投げかけは、ほぼ答えが決まっているようなものです。また、「今週、何か良い出会いはありましたか？」という投げかけは、相手に「良い出会い」だけを答えさせようとするものともなります。こう考えていくと、知らず知らずのうちに相手を操りながら会話をしていることも少なくないのかもしれないかもしれません。このような相手を操ることをマニピュレートと呼びます。

それでは、このマニピュレートが含まれない質問を用いて、zoomのブレイクアウトルームという少人数に分かれる部屋をつくり、2人1組になり、1人が質問者役・1人が回答者役をしてコミュニケーションを図っていきましょう（各5分）。

【質問1】 私はどのような能力を使えるのか

【質問2】 何が私を笑わせてくれているのか

2人での会話はどうでしたか？ つぎにもう少し人数を多くし、3～4人で12分間、今度は皆で質問や回答をしながらコミュニケーションを図っていきましょう。

【質問3】 私の安全な場所はどこにあるのか



講演会のようす

V. 承認のパターン

相手と会話する際、相手を認めること、褒めることを上手にしていくと、よりよいコミュニケーションが成立していくでしょう。ここでは、①ユーメッセージ、②アイメッセージ、③イットメッセージ、の3点に分けてお話ししていきましょう。

①ユーメッセージ、つまりこれは「あなた」ヘストレートに届けるメッセージのことです。例えば、「いいですね」などがありますが、日本人は謙遜しがちなので、「いえいえ、そんなことは…」という返答を招きがちです。そこで「あなたは、あなたが思っている以上に〇〇な人ですね」という表現にすると受け入れられやすくなると思います。

②アイメッセージ、これは相手の話を聞いて、自分がどんなふう思ったかを表すもので、相手を強く認めることにもつながります。父親が息子に「私はお前を誇りに思う」と言えば、かなり心を揺さぶられる発言として残るでしょう。

③イットメッセージ、これは褒められることに慣れていない人や、褒めることを不快に思う人に有効で、自分が見えたこと、聞いたことを事実として伝えるものです。たとえば、「あの仕事はとてもうまくいきましたね」のように、相手を直接褒めるのではなく、間接的に褒めるような表現にすることです。

これら3点をうまく活用すれば、関係性がよくなることと思います。ぜひ実践してみてください。